

提出年月日： 令和元年 10 月 23 日

提案団体名： 大和ハウス工業株式会社

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等
 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
<p>①BEMSの活用によるエネルギーの可視化及び低減 商業施設において、高効率の空調システム及び太陽光発電を導入するとともに、BEMSを採用することで、過剰なエネルギー消費を抑制。 (スマートコミュニティ光が丘エコタウン: https://www.daiwahouse.co.jp/release/20131226121138.html)</p> <p>②自動運転による郊外型住宅団地の維持・再生 高齢化が進む住宅団地に自動運転を採用することで、各種インフラ、生活利便施設へのアクセスを容易にし、団地の衰退を抑制、また再生を促す。 (当社の郊外型住宅団地再生: https://www.daiwahouse.com/about/release/house/20190215094613.html)</p> <p>③D-HEMSとスマ・エコクラウド(協力: 大和ライフネクスト、大和エネルギーなど) D-HEMSは戸建住宅において各戸のエネルギー使用実績などを見える化する仕組み。また、スマ・エコクラウドは、HEMSなどの各戸のデータをクラウドサーバに集約することで、まち全体のエネルギー状況を確認できるシステム。</p> <p>④大気浄化壁面緑化システム(協力: 大和リース、フジタ) 汚染された空気をファンで吸い込み、汚染物質を壁面緑化の土壌層に吸着させ、植物や土壌の微生物により排気ガスなどに含まれる二酸化窒素やPM2.5などを分解・浄化させるシステム。</p> <p>⑤EVカーシェア(協力: 大和リース) 管理組合自体が車を保有しカーシェアリングを行っている。家庭の省エネランキングに応じてカーシェアで利用できるポイントを付与するなどの省エネ施策も行っている。(晴美台、陽だまりの丘)</p>	<p>(1)、(2)、(5)、(6)、(7)</p>

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ
 ※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>①によって、省エネルギーや省人化を実現。ビル、住宅、店舗他各種建物や乗り物などの様々な空間におけるエネルギー利用の最適化を行うことでエコで暮らしやすいスマートシティの実現を目指す。</p> <p>②自社開発した住宅団地で自動運転の技術を導入することで、交通インフラにアクセスしにくい人々に外出の機会を提供。</p> <p>③まち全体で消費するエネルギー量と創出するエネルギー量が年間を通じて「差引ゼロ」となる、ネットゼロエネルギータウン(ZET)の実現を視認できる。</p> <p>④狭小地でも設置可能なため都市部での普及に貢献。建物壁面にも取り付け可能なため、地球環境保全にもつながる。</p> <p>⑤2台目保有を抑制し、省資源化。また、対象車をEV自動車とすることで省CO2にも貢献。</p>	<p>①:イ ②:ア ③:イ ④:ク ⑤:イ</p>

(3) その他

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
東京都開発部	多谷本 英利	03-5214-2160	hidetaya0319@daiwahouse.jp